

事務事業名	自転車用ヘルメット購入補助事業	事務事業No.	20103000149	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
岩瀬地区の小中学校においては、以前より自転車運転時のヘルメット着用が義務づけられていたが、大和・真壁地区の小中学校では義務づけられていなかった。 平成24年度に自転車運転中の事故が相次いだこともあり、平成24年7月からは市内全ての中学校においては自転車運転時のヘルメット着用を義務づけた。また平成25年度からは小学校においてもヘルメット着用を義務づけ、児童生徒の安全確保に努めている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
補助を行うことで保護者負担を軽減し、ヘルメット着用の推進による更なる児童の安全確保が求められている。 関係者より、中学校生徒への補助またはヘルメットの規格変更等の要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目			
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)		
	<table border="1"> <tr> <td>結びついている</td> <td>ヘルメットを着用することで、児童生徒の安全な自転車の利用に多少確保されることから、安心安全な教育環境づくりに結び付く。</td> </tr> </table>	結びついている	ヘルメットを着用することで、児童生徒の安全な自転車の利用に多少確保されることから、安心安全な教育環境づくりに結び付く。
	結びついている	ヘルメットを着用することで、児童生徒の安全な自転車の利用に多少確保されることから、安心安全な教育環境づくりに結び付く。	
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)		
<table border="1"> <tr> <td>妥当である</td> <td>児童生徒の安全確保は市の責務であることから、市が行うことは妥当である。</td> </tr> </table>	妥当である	児童生徒の安全確保は市の責務であることから、市が行うことは妥当である。	
妥当である	児童生徒の安全確保は市の責務であることから、市が行うことは妥当である。		
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)		
	<table border="1"> <tr> <td>向上余地がある</td> <td>ヘルメットの着用は、平成24年度に全中学校、平成25年度には全小学校で着用を義務づけた。購入補助に関しては、児童のみであるため向上の余地はある。</td> </tr> </table>	向上余地がある	ヘルメットの着用は、平成24年度に全中学校、平成25年度には全小学校で着用を義務づけた。購入補助に関しては、児童のみであるため向上の余地はある。
	向上余地がある	ヘルメットの着用は、平成24年度に全中学校、平成25年度には全小学校で着用を義務づけた。購入補助に関しては、児童のみであるため向上の余地はある。	
④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)			
効率性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))		
	<table border="1"> <tr> <td>余地がない</td> <td>類似事業はない。</td> </tr> </table>	余地がない	類似事業はない。
余地がない	類似事業はない。		
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)		
	<table border="1"> <tr> <td>削減余地がない</td> <td>学校教育課での一括購入など事業費を削減する努力を行っており、これ以上の削減余地は無い。</td> </tr> </table>	削減余地がない	学校教育課での一括購入など事業費を削減する努力を行っており、これ以上の削減余地は無い。
削減余地がない	学校教育課での一括購入など事業費を削減する努力を行っており、これ以上の削減余地は無い。		
⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)			
<table border="1"> <tr> <td>公正・公平である</td> <td>対象児童全てに対して購入希望の調査を行っているため、受益機会は公平である。</td> </tr> </table>		公正・公平である	対象児童全てに対して購入希望の調査を行っているため、受益機会は公平である。
公正・公平である	対象児童全てに対して購入希望の調査を行っているため、受益機会は公平である。		

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 □ 適切 ■ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	現在、各小学校で自転車運転の許可が出る学年(小3・小4)に上がる際に購入する自転車用ヘルメットについて、購入費用の1/2を市が負担をしている。しかし、補助対象のヘルメットは、一括購入し、形状等は同一のため、個人的に購入している場合がある。その場合は、この補助を利用できない。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
□ 終了 ■ 継続 → ■ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 → □ 現状維持		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上			○																						
	維持			×																						
	低下			×																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策形状の変更について保護者から要望がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ⑤																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)			
課長確認後の評価 <table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出</td> </tr> </table>	B	A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <table border="1"> <tr> <td>確認</td> </tr> </table>	確認
B	A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出			
確認				